

# 東通原子力発電所における新規制基準への適合性審査申請についてお知らせします

東通原子力発電所は、震災直後に実施した緊急的な対策により「福島第一原子力発電所と同様な事故を起こさない安全レベル」を確保できたものと考えておりますが、より確実な安全確保に向けた安全性向上の取り組みをハード・ソフトの両面から継続的に実施しております。

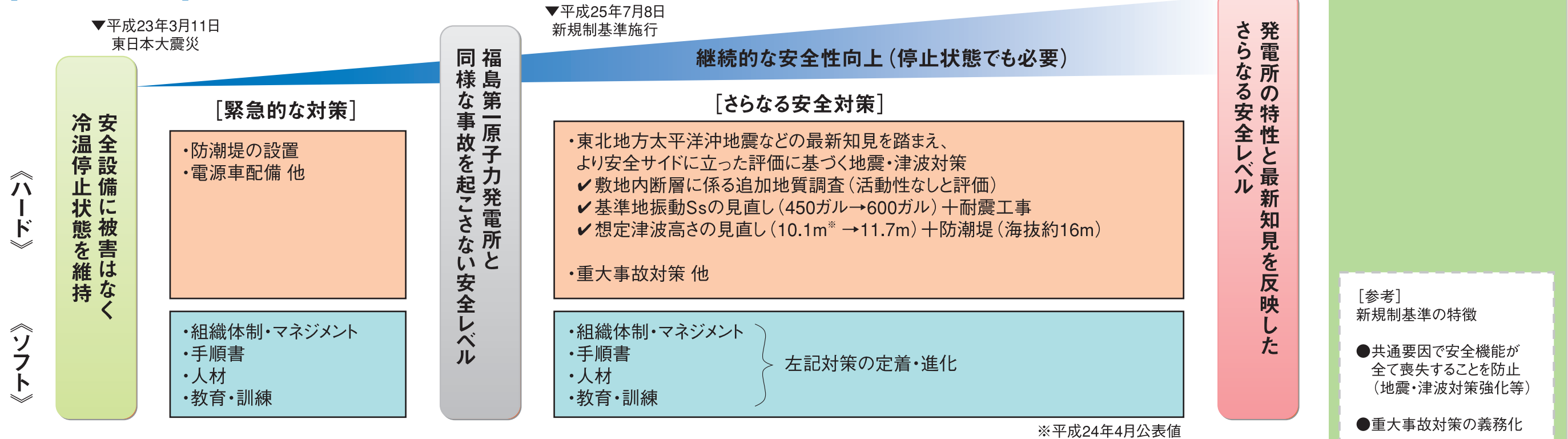
その一環として、世界最高水準の安全レベルを目指した国の新規制基準に対する適合性審査を受けることが重要と考え、6月9日に青森県ならびに東通村より了解を得て、6月10日に原子力規制委員会に申請いたしました。

今後も、地域の皆さまの安心につながるよう、より高いレベルでの安全確保に向け、対策に万全を期してまいります。



東通原子力発電所  
青森県下北郡東通村  
大字白糠字前坂下34-4  
電話 0175-46-3637(広報課直通)

## 【当社の取り組み】



## 【安全対策の例】

### 【地震対策（更なる安全性評価）】

（例）追加地質調査

敷地内断層について、自主的な追加地質調査を行い、社外専門家7名の見解も得ながら「活動性なし」と評価



地質調査の例（トレンチ調査）

（例）耐震工事

基準地震動Ss（600ガル）に対する裕度を確保

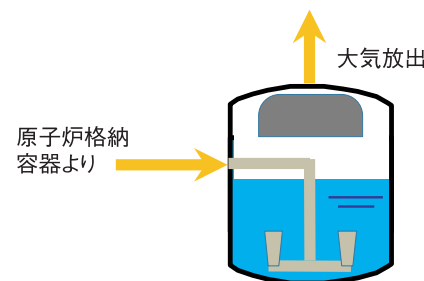


施工例（サポートの強化）

### 【重大事故対策（例）】

（例）フィルター付格納容器ベント

万一の重大事故時に、粒子状放射性物質の放出量を1/1,000 以下に抑制



（例）免震重要棟

万一の重大事故に対処する緊急時対策所の信頼性向上のため、免震構造の建物を設置



免震重要棟（イメージ）

### 【ソフト対策】

（例）訓練強化

冬場・夜間等、悪条件下での過酷事故を想定した訓練



電源接続訓練（冬季）

東通原子力発電所では、万一の事故の進展に応じた対策（深層防護）について、二重・三重の厚みを加える取り組みを進めています。

（縦軸の）各進行段階とも、二重・三重の対策を用意【対策の厚み】

万一の事故の進展に応じた対策を用意【深層防護】

施設を守る

燃料損傷を防止する

放射性物質を閉じ込める

地震・津波対策

●耐震工事

基準地震動Ss (600ガル)の揺れに対しても、重要施設の損傷を防止します。



耐震工事の例

●防潮堤

海拔約16mの防潮堤により、より高い津波（想定津波高さ:11.7m）から発電所を守ります。



その他対策

- 火山対策
- 竜巻対策
- 火災対策
- 溢水対策
- 他

溢水対策の例

配管の破断などで建屋内にあふれた水が重要施設に損傷を与えないよう水密化等を行います。



貫通部シール施工例

電源の確保

●ガスタービン発電機

配備済の大容量電源装置と駆動源が異なるガスタービン発電機を配備し、電源供給の信頼性をさらに高めます。



（写真はイメージ）

●電源車

建屋外部に接続口を設け、複数のルートから中央制御室等へ電力を供給します。



配備済みの電源車

[その他対策]

- 蓄電池容量増強
- 可搬型直流電源の配備
- 大容量電源装置の配備
- 他

冷却機能の確保

●高圧代替注水設備

原子炉の蒸気で駆動する注水ポンプを追加配備し、原子炉への注水の信頼性を高めます。



（写真はイメージ）

●大容量送水ポンプ車

配備済みの送水車に加え、大容量の送水ポンプ車を新たに配備し、冷却機能をより強化します。



配備済みの送水車

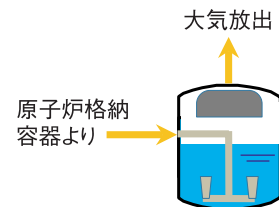
[その他対策]

- 淡水貯水槽の設置
- 可搬型熱交換器の配備
- 他

閉込機能の確保

●フィルター付格納容器ベント

格納容器ベントの際に、損傷した燃料から発生した粒子状放射性物質の放出量を1/1,000以下に抑制します。



●水素再結合装置

損傷した炉心等から発生する水素の蓄積を抑制し、原子炉建屋内での水素爆発を防止します。



（写真はイメージ）

[その他対策]

- 原子炉格納容器代替スプレイの設置
- 放水砲の配備
- 他

事故対応の基盤整備

事故対応を着実にを行うため、活動拠点や監視設備等の強化を進めています。

●免震重要棟



（図はイメージ）

●モニタリングカーの追加配備



[その他対策]

- 国・自治体との防災ネットワーク整備
- 重大事故用計器の設置
- 他

安全対策イメージ図

